

度 根室農業大賞表彰式

なみゆん



中標津町の寿宴にて、第12回根室農業大賞(功労部門)の表彰式が行われました。

小湊保前組合長が受賞され、酪農発展に寄与したことを称えられました。

根室農業大賞(功労部門)

小湊保氏が栄冠を受賞される

根室農業大賞委員会(原井松純委員長)では、去る11月18日(月)に令和元年度(第12回)根室農業大賞表彰式が、中標津町寿宴にて開催されました。

未来ある地域づくり活動の実践



この賞は、昭和52年8月新「根室管内農業賞」として生まれました。農業経営に限らず農協

運動の功労者を含むものでした。

農業経営の実践活動についての功績、農業協同組合運動の発展に寄与した者への表彰を意図とし、平成19

年度までの31回の表彰で188人に及ぶ功労者が表彰されており、平成20年度から根室農業大賞として新しい意義を見出し、根室農業発展の功

酪農畜産振興と地域社会の活性化及び発展向上に貢献

績を讃える顕彰制度として、再び引継がれたもので、今年で12回目となります。令和元年度は、当地域から中春別地区の小湊保氏が功績を讃えられ受賞いたしました。

「功績」

氏は、当地区で農業を営む3代目の長男として昭和27年に生まれました。

先代の父は昭和6年に福島県より当地に入植され、未開地を畑に開墾し行政の指導内容に基づき、畑作専業から牛を取り入れた畑酪混業を経て、根室の特殊性を生かした現在の酪農専業の基礎としました。

氏は中標津高校を卒業され、昭和45年より家業酪農に従事、同年に第2次構造改善事業が実施され大型機械の導入、畜舎などの施設整備に取り組みながら、その後、昭和56年12月経営を引き継ぎ、地域の中核的安定経営の定着に向け、中心的役割を担ってきました。さらには生産拡充と省力化のため、平成31年にはフリーストール牛舎・搾乳ロボット方式生産施設の整備を図り、現在では4代目に経営を移譲しています。

氏の協同精神を貫徹する理念と公平性を重んじる考え方は、地域の信望を寄せることとなり、平成13年、



諸先輩を始めとする強力な推薦の中、副組合長理事に就任、平成22年、代表理事組合長に就任、令和元年の退任まで通算6期18年間の永きに亘り、安定した酪農畜産経営に向け、経営の体質改善を基本としながら生産物の品質向上、経営コスト低減、酪農研修機能を持った生産施設の建設、就農に向けた人材育成、地域の労働力確保等、地域農業の振興を推進する「未来ある地域づくり活動の実践」と題した地域農業振興計画を樹立し、現在に至る当地域の農家経営の安定構築、農協財務基盤の強化など、酪農振興、地域振興に尽力されました。

一方、関係組織にあたっては、北海道農協酪農畜産対策本部委員会委員、北海道

道生乳受託販売委員会委員、根室地区酪農対策協議会会長、全国酪農業協同組合連合会副会長、北海道チクレン農業協同組合連合会経営管理委員、北海道チクレン・ミート取締役等要職に就きながら、農水省関係



部署担当官との太い信頼関係のもと、酪農畜産政策の課題解決と実現に向け奔走され、根室管内及び北海道酪農畜産の発展に大きく貢献されました。

氏は数多くの要職を担いながら、経営移譲後も原点

に立ち返り、恵まれた地域資源を最大限に活かす「土づくり、草づくり、牛づくり」を着実に実践し、いかなる情勢、外庄にも耐え得

る強い経営基盤とした酪農畜産振興と、地域社会の活性化及び発展向上に貢献され、その功績は誠に顕著であります。

「略 歴」	
平成13年6月～平成22年6月	中春別農業協同組合副組合長理事
平成13年6月～平成22年6月	農事組合法人中春ミルクファーム代表理事
平成19年5月～平成22年6月	(有)エイチ・ジー・シー別海振興取締役
平成19年6月～平成22年6月	(株)べつかい乳業興社取締役
平成22年5月～平成26年5月	(社)北海道酪農協会理事
平成22年6月～平成23年6月	根室地区酪農対策協議会副会長
平成22年6月～令和元年6月	中春別農業協同組合代表理事組合長
平成22年6月～令和元年6月	(財)北海道農業開発公社理事
平成22年6月～令和元年6月	(社)北海道草地協会理事
平成22年6月～令和元年6月	(有)広域運輸 取締役監査役
平成22年6月～令和元年6月	根室生産農業協同組合連合会副会長理事
平成22年6月～令和元年6月	北海道農協酪農畜産対策本部委員会委員
平成22年6月～令和元年6月	北海道生乳受託販売委員会委員
平成22年6月～令和元年6月	根室管内組合長会監事
平成22年6月～令和元年6月	(有)別海町酪農研修牧場取締役
平成22年6月～令和元年6月	(有)中春別マシンセンター取締役社長
平成22年6月～令和元年6月	(有)ジェイエー・ワンプ取締役社長
平成22年7月～平成28年7月	全国酪農業協同組合連合会理事
平成22年8月～令和元年8月	北海道チクレン農業協同組合連合会経営管理委員
平成22年8月～令和元年8月	北海道チクレン・ミート取締役
平成23年6月～平成29年6月	根室地区酪農対策協議会会長
平成28年7月～令和元年6月	(株)なかしゅんべつ未来牧場取締役社長
平成28年7月～令和元年7月	全国酪農業協同組合連合会副会長



台風被害に防災対策の 必要性をあらためて認識

役員道外視察研修を10月30日(水)から11月2日(土)までの4日間の日程で、西川組合長を団長に役員10人、職員1人参加のもと関東方面において実施いたしました。

この度は、千葉県いすみ市の「(有)高秀牧場」、千葉県千葉市の「千葉酪農農業協同組合」、当JAの酪農ヘルパー利用組合に多数の卒業生を送り出しています「東京動物専門学校」を訪問して参りましたので報告いたします。

〔(有)高秀牧場 「循環型酪農システム構 築、チーズも大人気」〕

10月31日、(有)高秀牧場を視察いたしました。乳用牛130頭(うち経産牛90頭)、年間の生乳生産量が900トで6次化産業にも取り組まれております。自作地にはデントコーンとイタリアンライグラスを輪作し、循環型酪農システムとして地域の稲作農家と契約し、糞尿を畑に還元しております。



(有)高秀牧場：チーズ工房前で代表より説明を受けます

地域の稲作農家からは、WCS(ホールクropp



(有)高秀牧場：清潔な牛舎内

サイレージを、1kg当たり20円程度で購入するシステムを構築されております。耕畜連携することにより糞尿処理問題が解決し、地域の稲作農家も万喜米(まんきまい)というブランド米を販売し所得向上へと繋がります。稲作農家と畜産農家のいざれも、お互いを欠くことができない存在となっております。

人材を安定的に確保する



サイレージ取り出しクレーン

ためには、牛乳を加工して販売し、消費者と交流しながら付加価値を高めていけば良い人材が農家にも来てくれると考え、平成24年にチーズ工房をオープンさせ、国際コンクールでの受賞歴もあることから、製造量が追い付かない程の売れ行きとなっております。チーズを買いに足を運んでくれたお客さんが、何も買わずに帰られるのは忍びないことから、平成28年にミルク工房(ジェラート&カフェ)をオープンさせ、売上げも順調に伸ばしております。農繁期の空き時間には、菜の花を栽培しており、1kgあたり10000円で販売、年間300万円程の利益を確保しており、農作業機購入代金に充てております。



ミルク工房前のオブジェ

す。台風15号が上陸した際には、今まで経験したことのない強風に見舞われ、4日間停電しましたが、防災対策として発電機を動かすなどの訓練を実施していたことから、停電時も発電機を使用して無事に搾乳を行うことができました。日本各地で毎年のように発生している災害は、いつ何時発生するかわかりません。あらためて防災対策の重要性について認識をさせられました。

千葉酪農農業協同組合 「千葉酪農牛乳、ヨーグルトを製造」

千葉酪農農業協同組合は昭和28年に設立され、千葉

令和元年度 役員道外視察研修



安田組合長より説明

県若葉地区に所在し千葉市を始め北総台地から東京湾、太平洋沿岸と広範囲にわたる35戸の生乳出荷農家によって構成されています。平成30年度の生乳出荷量は1万1732トの実績。千葉県は日本の酪農発

祥の地として全国の生乳生産量4位を維持しております。事業内容としては、千葉県内の生乳を毎日集荷し、1000mlパックの牛乳を毎日6万本製造し、他にもコーヒー、手作りアイス、低脂肪乳、ヨーグルトなども製造し、関東圏を中心に販売しております。安田組合長から千葉県を襲撃した台風15、19、21号の被害状況について報告があり、「千葉県内では約250頭以上の乳牛が死亡し、被害は深刻な状



千葉酪農農業協同組合との意見交換

況であり、市乳工場も3週間ほど稼働停止した」との説明がありました。電話が通じない状況が続き、電波が届く地域へ職員が車で移動し、集乳路線の変更など対応に追われたとのことでした。

視察時には市乳工場は通常通り稼働しており、牛乳とヨーグルトの製造が行われておりました。今回の台風で被災された方々へ心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

東京動物専門学校 富里キャンパス 「農業の担い手として期待」

東京動物専門学校は、千葉県八千代市に所在する動物園や、水族館の飼育員など動物関連の職業従事者を育成する2年制の専門学校です。

JA中春別管内で多数の卒業生が活躍している実績ある学校です。当該校には2つのキャンパスがあり、今回の視察研修では東京ドーム1個分の広さがあ

り、230種類、1500頭以上の動物を飼育管理しています富里キャンパスを視察いたしました。

視察受け入れに際し、当該校の川原氏にお出迎え頂き、学校についての紹介があり、毎年140人ほどの学生が入学しており、うち女性が7割を占めているとのことでした。学生たちは先生方から動物の扱い方などを学び、掃除や餌やりなど動物と真剣に向き合っていました。

小型の鳥類、爬虫類、犬や猫、草食動物、オオカミやニホンザル、アルパカ、ロバ、ラマ、ダチョウなど豊富な種類の動物たちを飼育しており、特に驚いたのはホワイトタイガーの兄弟。教育目的として国内で初めて環境省から飼育許可されたとのことでした。今後も農業の担い手育成確保に向けて互いに連



学生たちが飼育管理（富里キャンパス）

携していくことを確認いたしました。



東京動物専門学校、川原氏より概要説明

フレッシュ
ミセス部会
梨狩り遠足

採れたての甘い梨に思わず笑顔

秋といえば、食欲の秋。道東のフルーツ狩りのメッカ・網走観光フルーツ園へ子供たちと一緒に10月21日(月)、梨狩りに行ってきました。

子どもたちは、広い梨園に興奮気味で駆け回り、早速、木に登り大きな梨を収穫しました。

「見て、見て、こんな大きな梨が採れたよ!」と見せ合い、その場で皮を剥いて、もぎたてを堪能、「おいし〜い!」と思わず顔を見合わせる親子。家族へのお土産分も持参し、秋の収穫と味覚を楽し



んだ1日となりました。なお、網走観光フルーツ園では、他にもさくらんぼやりんご、プラムやプレーンなど季節によってフルーツ狩りを楽しむ事ができますので、皆さんも一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



助け合い、支え合い、知恵を出し合い活動

女性部
幅広ヘア
バンド作り

簡単おしゃれなヘアバンドを作製

家の光2018年4月号で紹介されました、ハンカチで作る幅広ヘアバンドを、10月23日(水)に作りました。

それぞれ好きな柄、色を選びおしゃべりを楽しみながら作業を進めて行きました。

普段あまり裁縫をしないという人も、素敵なヘアバンドを完成させ、頭に付けて記念撮影をしました。今回、女性部で作製したヘアバンドは、11月



に札幌市で開催された家の光大会に出展しました。



女性部 Young Women's Division

女性部
木の実部会
お楽しみ会

あつという間の楽しい時間を
過ごしました



中春別農協女性部木の実部会（野矢千鶴部会長）では、11月22日（日）にお楽しみ会を開催しました。
毎年恒例の行事ですが、仲間たちと集まり美味しい食事を食べられるとあって、人気の行事となっています。
途中、景品をかけて、うちわを



使つてティッシュペーパーを扇ぎ相手の方に落とすと勝ちという「ティッシュあおぎ」ゲームを行いました。一瞬で勝負がついてしまふゲームのため、皆さん集中して真剣な中にも笑いありで、ひと時を楽しみました。景品にはミニ観葉植物やランチョンマットなどがあり、「さっそく部屋に飾るわ！」と皆さん気に入ってくれました。

女性部の活動をピックアップ

女性部
花壇整備

花壇を彩った後は、冬を前に雑草、苗抜きをして来春に備えます



女性部では、10月23日（水）に今年最後の花壇整備を行いました。
肌寒い中、たくさんの方が集まり作業を進め、農協を彩った花や雑草を抜きます。
なお、寒さに強いダステイミラーは、来年まで残すことになりました。雪が積もる前にお楽しみください。
女性部では、来年も農協に訪れる人に楽しんでいただく

だけるような花壇作りをすすめていきます。



楽しみながら地域を活気づけましょう

JA北海道女性リーダー研修会・北海道家の光大会

シャトレレーゼ・ガトーキングダムサッポロで11月7日(木)～8日(金)にかけて、JA北海道女性リーダー研修会・北海道家の光大会が開催され、当女性部より2人が参加いたしました。

文殊正也氏の講演「学ぼう、地域でとりくもうSDGs」では、国連が採択した持続可能な社会を築く目標であるSDGsについて、クイズを交えて楽しくお話をしていただきました。「SDGsは、誰ひとり取り残さないことを目指し、先進国と途上国が一丸となって達成すべき目標です。17



学ぼう、地域でとりくもう SDGs



個の具体的な目標を掲げており、いざ社会の常識となります。そして、それらすべてが自分自身の課題（自分ごと）としてとらえることが何よりも大切です。まずは、自分たちの地域から負の連鎖を断ち切る活動をしてみましょう。1人ではできなくても、皆で誰かを巻き込みながら新しい活動を行えば、もつともつと地域は良くな



り、輝きます。私はJA女性組織の『Happyのまんかに。』という言葉がとて好きです。皆でワイワイ楽しみながら地域を活気づけていきたいと思います。「会場からはたくさんの拍手が送られ、講演は終了となりました。手作り工夫展では、それぞれの女性部が作成した作品がたくさん並べられました。モザイクタイルの鍋敷き・手作りこうじみそなどの力作が並び、ブース周辺では終始有意義な交流がされていました。

ロビー展を開催しております



兼松幸裕さん「コミミスク」

南澤三郎さん「さくら」

金融共済課待合室にて写真「北風」の南澤三郎さん、兼松幸裕さんの写真3点を展示しております。
色鮮やかな桜と獲物を狙って滑空するコミミスクを撮影された2人の自信作です。
農協へお立ち寄りの際はぜひご覧になってください。

日々実感する営農への意見を伝える



青年部（山田晃嗣部長では、青年部員5人参加のもと、農林水産省との意見交換会を11月11日（月）に実施いたしました。

産省との意見交換を行っており、事前勉強会を行い、万全な体制で臨みました。意見交換会は、畜産クラスター関連事業や災害対策関係、家畜伝染病対策、雇用、ICT

関係について意見交換をし、終了後は場所を移し懇親会を実施しました。限られた時間の中ではありますが、日頃実感する営農に関する様々な意見や思いを伝える事が出来たことと、思われま



（参加者）

部長 山田晃嗣
 副部長 片岡卓也
 理事 藤倉香津靖
 監事 中山泰輔
 部員 佐々木克典
 事務局 天野拓弥
 佐々木捺希

各農場で実践できる研修、技術などを視察

中春別酪農振興会 視察研修会



中春別酪農振興会（村山英司会長）では、会員の知識向上と親睦を図る目的から10月24日（木）から25日（金）にかけて会員7人参加のもと、長沼町にあります雪印種苗（株）北海道研究農場への視察を行いました。

配合飼料及び粗飼料給与における牛への影響などについて研究を行っています。牛舎にて、研究概要についての説明を受けました。研究農場ということもあり、様々な種類の粗飼料・配合飼料を給与しながら試験を実施しており、清潔に保たれている牛舎内では蹄病の発生は皆無とのことでありました。

現場でも実践できる技術も見受けられたことから、研修した内容をもち帰り、各農場で活かしている有意義な研修となりました。

本年産サイレージの 栄養価

天が続き、収穫期も平年より早まっています。(表1)。一番草の乾物は収量は多い傾向ですが、出穂期が早まったため、収穫時

表1. 本年の牧草生育状況(根室管内 作況より)

年	萌芽期	出穂期	収穫期	特徴
平年値	4/25	6/21	6/22~7/17	
R1	4/25	6/16	6/19~7/10	出穂が早い
H30	4/24	6/21	6/22~7/25	長雨による刈遅れ
H29	4/25	6/20	6/20~7/10	生育良好

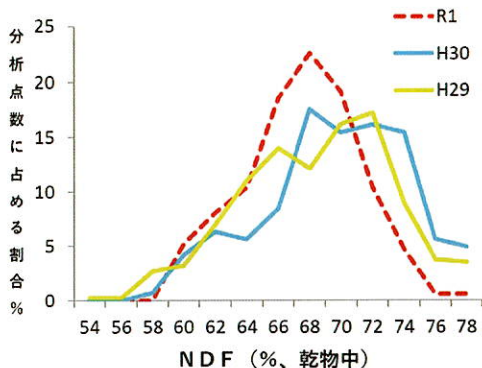


図1. NDF(中性デタージェント繊維)の分布

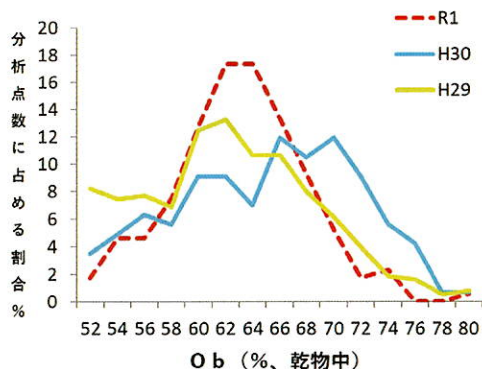


図2. Ob(低消化性繊維)の分布

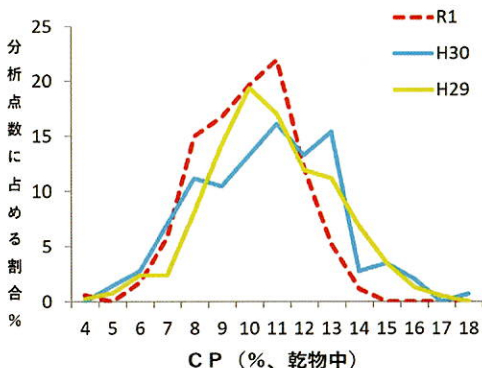


図3. Cp(粗蛋白質)の分布

1 気象状況とチモシーの生育

本年産サイレージの開封が始まりました。根室管内の今年の気象状況とチモシーの生育状況を振り返り、サイレージ分析の結果から、本年産サイレージの特徴をまとめました。

の生育ステージが進んでいる可能性があります。

2 サイレージ分析値から

根室管内で10月末までに開封・分析が行われている本年産一番草サイレージ(173サンプル)の分析値と、H30年産(143サンプル)、H29年産(193サンプル)の一番草サイレージ分析値を比較しました。

繊維の総量を表すNDF(中性デタージェント繊維)の値は、H30年、H29年の傾向と比較す

3 本年産一番草サイレージの傾向

本年産サイレージは、分析値

と低い値で分布しています(図1)。Ob(低消化性繊維)の値は、刈り遅れ傾向だったH30年と比較すると低い値で分布しています(図2)。このことから、サイレージ中の繊維割合は少なく、繊維の消化性は良好という傾向がわかります。

CP(粗蛋白質)は、過去2年と比較するとやや低い値で分布しています(図3)。

の分布にばらつきが少ない特徴があります。これは、短い収穫期間で均一な品質のサイレージを収穫できたためと考えられます。

NDFおよびObの傾向から、繊維の消化性は高いことが期待できます。CPは低い傾向にあるため、サイレージの分析値を踏まえて蛋白質飼料を補うことを検討しましょう。

高い消化性が期待できる本年産サイレージは、十分な給与とエサの掃き寄せ、飲水量の確保により、更に乾物摂取量を高めることができます。サイレージは定期的に分析を行い、栄養価と発酵品質を確認することを心がけましょう。



認知症の理解とサポートの 取り組みを勉強

根室管内「家庭介護教室」

根室管内「家庭介護教室」が根室農業会館で10月24日(木)に開催されました。

今回は、「認知症サポーター育成」と、「家庭介護技術の習得」の講座が行われました。

認知症講座では、「驚かせない」「急がせない」「自尊心を傷つけない」と言った3つの心得などを勉強し、知識を深めることによって、脳の病気・認知症になった人の行動や言動が理解につながる事を学びました。

家庭介護技術は、口腔ケアの効



果とその適切な方法と、車いす操作の危険性について学びました。最後に「ゆる元体操」で頭と体の運動を、楽しく習得しました。



利用者と一緒にカラオケを楽しみました

そよかせ訪問ボランティア

ボランティア組織そよかせ(高井恵美子代表)では、10月30日(水)に別海町グループホームすずらんにて訪問ボランティアを行いました。

会場へ着くと利用者の方々が待っていてくださり、訪問の日を楽しみにしてくださっているようでした。



朗読「眠り姫」を始め、カラオケ13曲を披露し、途中、会員の方

懐メロを歌って
多くの笑顔に出会いました

とデュエットをしたり、最後は「高校三年生」を会場にいる全員で歌いました。会場内に笑顔があふれ、「また来ました!一緒にお喋りしませんか?」「歌がお上手ですね、この曲を一緒に歌いま



しよう!」など、会話も弾みました。ボランティア組織そよかせでは、これからたくさんの笑顔に出会えるよう「自分たちのできることから」を合言葉に様々な活動を行います。

一緒に活動してみませんか

活動に興味のある方、訪問ボランティアと一緒にしてみたい方は営農振興課・電話76-2241番までご連絡下さい。

中春別乳牛改良同志会では11月5日(火)から7日(木)にかけ7人の参加者のもと、酪農視察研修を開催しました。

高度な飼養管理技術を学びました

今回は、自身の酪農経営への刺激になればと思い、中春別乳牛改良同志会主催の酪農視察研修に初めて参加させていただきました。

つからず、乳房炎にはほとんど困っていないように見受けられました。他にも、分娩間隔は若干長めではありましたが、本人曰く牛の状態が上がっ



共進会で常に上位に入る山内牧場の牛群

中春別乳牛改良同志会 酪農視察研修

宗像 卓朗

初日は北見市の山内誠牧場に行きました。こちらの平均乳量は1万1300kgと全道の平均以上の乳量を出しているにもかかわらず、牛たちは健康的な状態を維持しており、また、盲乳も牛群の中に1頭しか見

たのが平均授精回数は1.6回と非常に少なく、また、使う精液はほとんどが性選別精液とのことで、繁殖成績が決して悪いわけではないことがわかり、繁殖管理における方法の一つとしてとても参考になりました。

てきたら授精をするとのことでした。特に驚い



管理のポイントを学びました



山内誠牧場

2日目の1件目は、恵庭市のエムエスケー農業機械株式会社に行きました。こちらは1954年からマツセイ・ファアゴソントラクターの販売を手がけるなど、とても歴史のある会社で、現地では他にもフェン



エムエスケー農業機械(株)

ト、クラス、クーンの作業機やトラクターの組み立ての光景や完成品を見学させていただきました。また、GPSとステアリングコントローラーを一体化した自動運転のシステムも販売しており、精度もかなり上がっているとのことでした。技術の進歩により、牧草収穫の精度の高さ及び作業性の向上に大いに期待が持てました。

最後に、安平町の小華和寛紀牧場へ行きました。こちらの個体平均乳量は全道1位の1万5167kg出しているにもかかわらず、平均分娩間隔は420日、平均除籍産次は3.5産とど

の数字を見ても素晴らしい成績を出していました。牛たちは健康的な体をしており、肋も深く、しっかりと餌を食い込んでいる印象を受けました。その分TMRには添加剤やビタミン類を多く使っており、牛群管理に神経を使っているのがよくわかりました。

今回の視察研修で特に印象を受けたのは、個体乳量が高くても飼養管理や繁殖管理をしっかり行えば、分娩間隔や繁殖成績に大きく悪影響が出るわけではなく、牛群も良い状態を維持できるということがわかりました。この視察研修を酪農経営の参考にし、今後とも頑張っていきたいと思えます。



小華和寛紀牧場

ホルスタイン写真コンテスト

中春別乳牛改良同志会(寺澤佳吾会長)では、毎回好評であります「ホルスタイン写真コンテスト(未経産クラス)」を行いますので、投票要項に注意してお早めに応募して下さい。

予想投票応募要項

1. 同封しています予想投票用紙に6頭の序列付を行い、その牛の該当記号(A~F)を記入して下さい。
2. 全問正解者、また、正解率の高い方に賞品を贈呈

致します。なお、正解者多数の場合は抽選により決定致します。

3. 住所、氏名、記号は、はっきりわかりやすく記入し、投票用紙を畜産課(畜産指導係FAX76-3006)または、授精師にお渡し下さい。
4. 応募〆切は、1月17日となっておりますので期日までに応募して下さい。
5. 序列・講評と全問正解者(当選者)は2020年2月号で発表致します。





もっともーっと 北海道を食べてようランチパーティー

おいしい北海道のお米・牛乳

道産・管内産の食材を使用した立食ランチパーティーが、中標津町「ウェディングプラザ寿宴」にて、11月20日(水)に行われました。



北海道の食を堪能！

今年はずっとの開催となりましたが、多くの人に会場いただき、道産食材を使った料理の試食をとおして地産地消と、北海道の魅力をもっと知ってもらう事を目的としたランチパーティーを楽しんでいただきました。

JA根室地区女性協議会のブースでは、ミルク餅のゴマときなこを配布し、ぷるっとした食感と甘さがとても好評でした。

当農協では、青年部でミルクロールとスウィートポテトの販売を行いました。試食の効果もあり、「初めて食べたけどおいしいね！」という声を頂き、完売するほどの好評を博しました。

最後に各農協の商品や、



道産米などが当たるお楽しみ大抽選会が行われ、イベント会場は盛り上がりました。このイベントをきっかけに、北海道の食の魅力をたくさんの人に感じていただけたのではないのでしょうか。



●【経営科】農ク全国大会に出場しました

10月23日(水)、24日(木)に南東北(宮城県・山形県・福島県)で日本学校農業クラブ全国大会が開催され、農業鑑定競技会(畜産)に3年生の酒井瞬君が出場しました。残念ながら入賞はなりませんでしたでしたが、これまでの学習で努力してきた成果は出し切れたとのことでした。大会式典では、全国大会で最優秀賞を受賞した発表を参観し、各校の優れた実践を学習できたのは大変良い機会となりました。また道内外の参加生徒たちとのネットワークも多く作ることができた大会となりました。酒井君は「専門性の高い問題が多く、難しかったが畜産の学習や全国大会への参加は、自分の将来にとっても非常によい経験となった。次年度の全国大会はぜひ後輩に活躍してもらいたい」といった感想を話していました。次年度は静岡県で同大会が開催されます。



全国大会競技会場にて

●【経営科】海外研修を実施しました

11月4日(月)から11日(月)の8日間、海外視察研修が行われ、3年生の石川遼君、塩田優樹君、酒井瞬君、の3人が参加しました。



ブロンティン牧場にて

本校では別海町酪農後継者を育てる会(原井松純会長)と別海町のご支援のもと、5年前よりカナダの酪農視察を実施しています。今年の研究ではケベック州モントリオールのブロンティン牧場やバルビゾン牧場、ジレット牧場、また、オンタリオ州にてフリーストール牛舎での飼養管理と、カナダ最高級の評価を受けたサイレージ生産を実践しているサミットホルム牧場を視察しました。

研修の後半は、ロイヤルアグリカルチュアル・ウィンターフェアの視察でした。セール・オブ・スターズやナショナルホルスタインショー(ブラック&ホワイトショー)の見学をとおして、カナダの出品牛のすごさをあらためて実感しました。

参加した3人とも将来、酪農関連産業に就いた時にこの経験を活かしたいと話していました。今回の研修での報告会は、1月下旬に本校にておこなう予定です。

●【専攻科】第2回酪農技術現地研修会開催

10月9日(水)~11日(金)までの3日間、酪農技術現地研修会を実施しました。1日目は足寄町「佐藤牧場」と帯広市「リバティヒル広瀬牧場」を視察しました。「佐藤牧場」では後継者・経営者の両方の側面からみた経営方法などについてアドバイスを頂きました。「リバティヒル広瀬牧場」では6次産業化への取り組みと“楽農”と地域活性化についてご説明いただきました。



牧場視察の様子

2日目は恵庭市のオリオン機械株式会社千歳工場と江別市「関牧場」を視察しました。オリオン機械株式会社千歳工場では、最新農作業機器の説明を受け、江別市の「関牧場」では、哺育から搾乳までの工程を1つの牛舎で行うオールインワン牛舎の視察をさせて頂きました。3日目は長沼町の雪印種苗株式会社北海道研究農場を視察しました。今回は初めて牛舎を見学し、農場では牧草の越冬耐性や、品質評価実験などの研究をしている圃場を視察させて頂きました。



研究農場視察の様子

参加した学生からは、「いろいろな酪農場の経営スタイルを視察することで、共通している部分があり、自分の仕事への自信になった」といった声が聞かれました。自分の住んでいる地域を離れ、様々な視点から酪農について考えることによってそれぞれの専門性を高めることができました。

●【専攻科】新規就農者交流会へ参加

10月24日(木)に根室管内新規就農者交流会が中標津町で開催され、専攻科学生6人が参加しました。新規就農者が抱える課題を情報共有・意見交換し相互の交流を図ることを目的に行われており、関係者を含めて約60人が参加しての交流会となりました。



事例発表の様子

「私が目指す酪農」というテーマのもと、専攻科1年目学生の浅田さんが事例発表を行い、その後グループ毎に分かれ、討議と昼食交流会が行われました。参加学生はグループ討議において、新規就農者の皆さんや指導農業士の皆さんと自分が今抱えている問題など、活発に討議を行い今後の酪農経営に向けた良い刺激となる、充実した交流会になりました。

JAグループ通信

JA北海道中央会



JAグループ北海道は11月14日に東京都にて、「経営所得安定対策の単価改定」と「総合的なTPP等関連政策大綱の見直し」に向け、道内与党国会議員や農林幹部に対する中央要請、並びに農林水産省と意見交換を実施しました。経営所得安定対策では3年に一度の単価改定の見直し議論が行われていることから、輪作バランスや畑作経営に対する影響を考慮し、単価が大きく変動しない単価設定とすることや、各作物の生産振興対策などを求めました。TPP等関連政策大綱の改訂にあたっては、相次ぐ大型貿易協定の発行による、中長期的な北海

道農業に与える影響が大きいと、各作物別の需給調整・価格安定対策の充実強化、生産基盤の強化に向けた対策を求めました。

今後も、北海道の農家、組合員が安心して営農できるように取り組んで参ります。



JA北海道信連



収穫体験や調理体験等の独自イベント、「旬食カレッジ」は今年で4年目となり、今回は一般の女性の方々を対象に、8月、江別市で開催しました。また、全道各JAの協力を受け、今年度から新たに「親子で学ぼう!あぐりキッチン教室」を、全道各地で延べ25回開催しました。これらの食農教育活動を通じて、食や農に対する関心を高め、JA・JAバンクのサポーターを育てる取り組みを行っています。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、「2019年度 JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の表彰式を10月26日(土)にANAクラウンプラザホテル札幌にて開催しました。46回目を迎える同コンクールは、全道より3,296点の応募をいただき、その中から金賞9作品が選出され受賞されたみなさんが表彰されました。

今回、受賞された作品は、さっぽろ雪まつり会場・道庁ホールでの展示などが予定されております。



ホクレン



ホクレンと北海道米販売拡大委員会は10月17日、北海道産の2019年新米発表会を東京都内で開きました。発表会には鈴木直道・北海道知事とCMキャラクターを務めるタレントのマツコ・デラックスさんらが出席しました。ホクレン内田和幸会長より「今年は、ご満足いただけるおいしい北海道米をお届けできます」とアピールし、マツコさんはステージ上で新米を試食し、「実は一番好きなのがこの『ふっくりんこ』と楽しいトークで盛り上がりました。



JA北海道厚生連



10月23日(水)ホテルポールスター札幌において、令和元年度北海道福祉のまちづくり賞の表彰式が行われ、JA北海道厚生連特別養護老人ホーム摩周が公共的施設部門の「北海道福祉まちづくり賞」を受賞しました。この賞は福祉的配慮に優れた公共的施設等におくられるもので、福祉・建築・市民活動等の有識者で構成する会にて審査が行われ表彰が行われました。この賞を機に施設としての充実だけでなく、入居者の皆さんの生活の充実に向けて更なる向上を目指したいと思っております。



JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

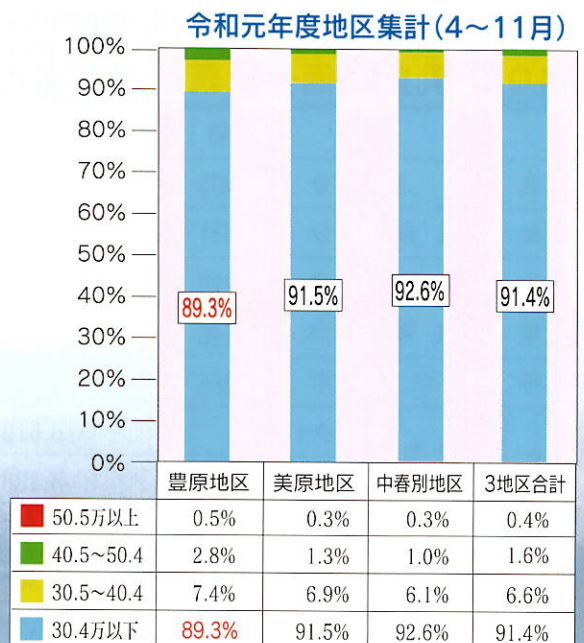
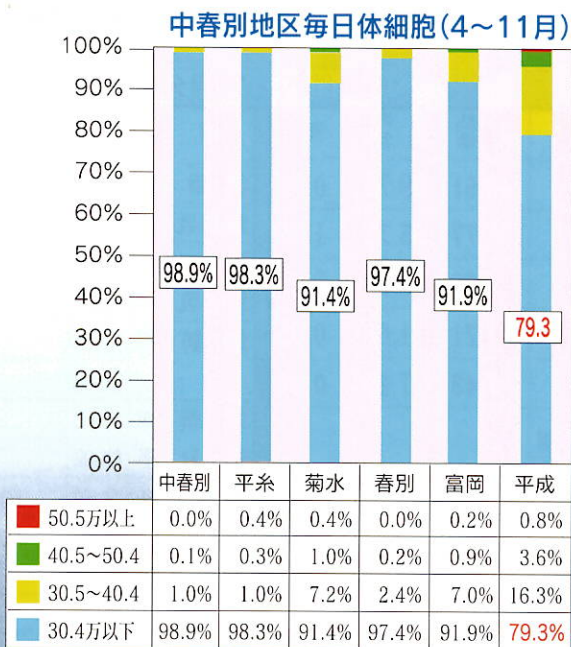
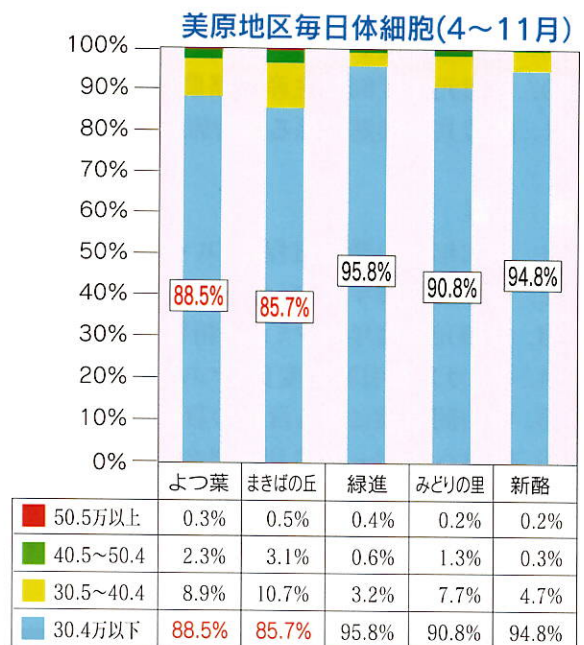
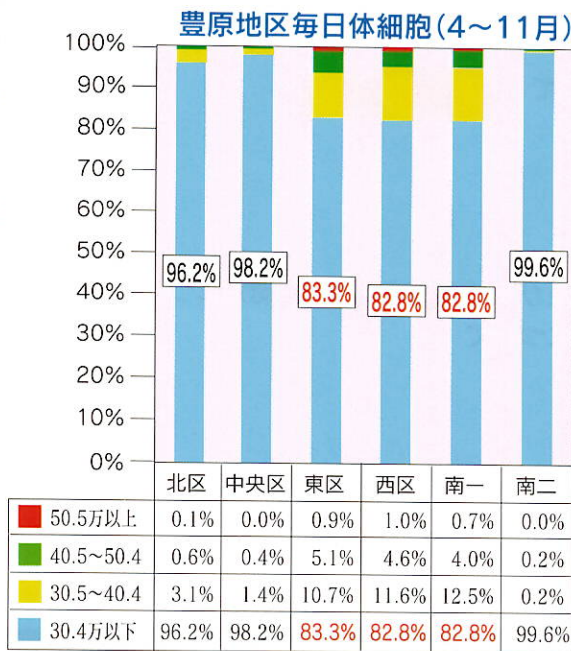


生乳汚染事故を無くそう！

- **抗菌性物質**混入事故……………JA中春別発生件数 **1**件 管内合計では**7**件です。
(ストレージタンク汚染)
- 生菌による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異物混入、加水、**血乳**による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では**1**件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

何かと多忙な12月 忘年会での無礼講 忙しくても忘れちゃいけないミルクドクターの励行

良質生乳生産推進委員会からの標語



第10回 理事会の動き

令和元年11月30日(土)

報告事項

1. 組合員の脱退について
2. 令和元年度9月末定期監査報告について
3. 固定資産実査の終了について
4. 固定資産の取得について
5. 北海道常例検査に伴う指摘事項改善・対応状況報告書について
6. 令和元年度北海道常例検査の終了について
7. 令和元年度9月末子会社の監査報告について
8. 農協独自キャンペーンの実施について
9. 令和元年度10月末営農関連実績について
10. 令和元年度飼料生産型酪農経営支援事業について
11. 酪農共済推進に係る優待旅行の参加について

議案

1. 年末年始の業務日程について
2. 令和元営農年度クミカン取引に係る貸越極度額及び供給限度額の変更・認定について
3. 令和元営農年度クミカン精算に係る資金の貸付について
4. クミカン取引名義変更について
5. 中山間事業に係る資金の貸付について
6. 緊急ヘルパー事業利用料金の改定について
7. 生活クラブ連合援農体験の実施について
8. 特定疾病感染補償互助会の支払いについて

10月 乳質乳価一覧表

(単位:円/)

10月分乳代支払単価

		単 価	支 払 額	前 年 期	差		
乳 脂 肪 分		1,015.470	40.51	39.72	0.79		
無 脂 乳 固 形 分		646.071	56.77	55.72	1.05		
生 産 者 補 給 金		5.7220	5.72	5.63	0.09		
集 送 乳 調 整 金		1.7146	1.71	1.66	0.05		
補 給 金 合 計		7.4366	7.43	7.29	0.14		
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1	2	315,515,312.6kg	3.72	3.73	-0.01
		ランク2	0	8,138,162.5kg			
		ランク3	-3	99,725.3kg			
	体細胞数	ランク1	2	280,305,801.9kg			
		ランク2	1	22,527,645.1kg			
		ランク3	-2	5,548,986.0kg			
合 計			108.43	106.46	1.97		

項 目	単価(円)/(kg)%	
乳 脂 肪 分 ①	40円51銭	
無 脂 乳 固 形 分 ②	56円77銭	
生 産 者 補 給 金 ③	5円72銭	
集 送 乳 調 整 金 ④	1円71銭	
脂 肪 率	全道	3.99%
	農協	4.03%
無 脂 固 形 分 率	全道	8.79%
	農協	8.73%
成 分 乳 価	全道	104円71銭
①+②+③+④=⑤	農協	104円75銭
乳 質 乳 価 ⑥	全道	3円72銭
	農協	3円78銭
乳 代 合 計	全道	108円43銭
	農協	108円53銭
⑤+⑥	差異	0円10銭

令和元年度 年末・年始の業務日程表

休業

日程 区分	令和元年		令和2年							
	12/30(月)	12/31(火)	1/1(水)	1/2(木)	1/3(金)	1/4(土)	1/5(日)	1/6(月)	1/7(火)	
事務所(除く信用)	午前中のみ 業務									御 用 始
事務所信用窓口	平常業務					ATM午前中 のみ業務		平常業務		
Aコープ中春別	9時30分~15時 営業				9時30分~15時 営業			9時30分~15時 営業		
給油所	平常業務	8時~15時 (セルフのみ)			9時~15時 (給油・配送)	9時~15時 (給油・配送)	9時~15時 (セルフのみ)	8時~17時 (給油・配送)		
倉庫	平常営業					午前中のみ 営業		平常営業		
訪問介護事業所 「あさひな」	平常業務				サービス 提供のみ	サービス 提供のみ	サービス 提供のみ	サービス 提供のみ		
人工授精	平常業務	午前中のみ 業務	午前中のみ 業務	午前中のみ 業務	午前中のみ 業務	午前中のみ 業務	午前中のみ 業務	午前中のみ 業務		
生乳	抗生物質 検査のみ	抗生物質 検査のみ	抗生物質 検査のみ	抗生物質 検査のみ	抗生物質 検査のみ	平常業務	平常業務	平常業務		

中春別マシンセンター	午前中のみ 営業						午前中のみ 営業	午前中のみ 営業	御用始
------------	-------------	--	--	--	--	--	-------------	-------------	-----

※農業機械・車両整備の連絡先 土屋工場長(携帯)080-6086-3273 高橋課長(携帯)080-5586-1672

尚ジェイエーワン	午前中のみ 営業								御用始
----------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	-----

※作業依頼の連絡先 山田専務(携帯)090-8426-6465 方波見課長(携帯)090-8428-8462

備なかしゅんべつ末来牧場 共和育成センター 全酪連育成センター 酪農研修センター	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	御用始
---	------	------	------	------	------	------	------	------	-----

ATMの稼働日について

日程 区分	令和元年		令和2年						
	12/30(月)	12/31(火)	1/1(水)	1/2(木)	1/3(金)	1/4(土)	1/5(日)	1/6(月)	1/7(火)
当JA ATM	平常稼働					午前中のみ 稼働		平常稼働	平常稼働
ゆうちょATM	平常稼働	平常稼働	平常稼働	平常稼働	平常稼働	平常稼働	平常稼働	平常稼働	平常稼働
コンビニATM (セブン銀行等)	平常稼働	8時~21時 稼働	8時~21時 稼働	8時~21時 稼働	8時~21時 稼働	8時~21時 稼働	8時~21時 稼働	平常稼働	平常稼働

- ◎販売関連業務 (1)初生トク集荷
年内最終集荷12月30日
年明集荷1月7日
(2)ホクレン市場
最終開催日12月25日(初生のみ)
年明開催日1月8日
- ◎牧場関連業務 哺育・育成集荷
年内最終集荷12月30日
年明集荷1月7日

◎人工授精業務
午前中のみ業務、午後から休業

◎緊急時の連絡先

- (1)停電……………北電 0120-060-674
- (2)除雪(生乳集荷路線)……………平間課長宅0153-86-2130
- (3)給油……………田中係長080-6090-2923(緊急携帯)
- (4)飼料等配送……………別海貨物(中原部長)090-3398-3646
- (5)生乳検査……………平間課長宅0153-86-2130(緊急携帯)090-2076-4014
- (6)夜間バルク抗生物質検査……………(緊急携帯)090-2076-4014
- (7)FAX故障……………今野担当080-1869-2878
- (8)その他……………下地課長090-5959-2717、大内部長宅72-7659

JA中春別酪農ヘルパー利用組合年末年始業務日程

- ◎休業 12月31日(12月31日夕~1月4日朝の業務)
- ◎業務開始 1月4日(夕)から通常業務開始
- ◎緊急ヘルパー受付
※農協休業日
天野宮農振興課長 携帯電話090-7653-6697

組合員の広場



作品名「牧場」中村及子さん



作品名「桜」中村及子さん

今月号の組合員の広場は「和紙絵香彩会」の作品を掲載いたしました。
組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。
営農振興課・原内までお気軽にご連絡ください。

第39回 ホルスタイン写真コンテスト応募用紙

住 所： _____

氏 名： _____

1位	2位	3位	4位	5位	6位

第39回 ホルスタイン写真コンテスト応募用紙

住 所： _____

氏 名： _____

1位	2位	3位	4位	5位	6位

第39回 ホルスタイン写真コンテスト応募用紙

住 所： _____

氏 名： _____

1位	2位	3位	4位	5位	6位

